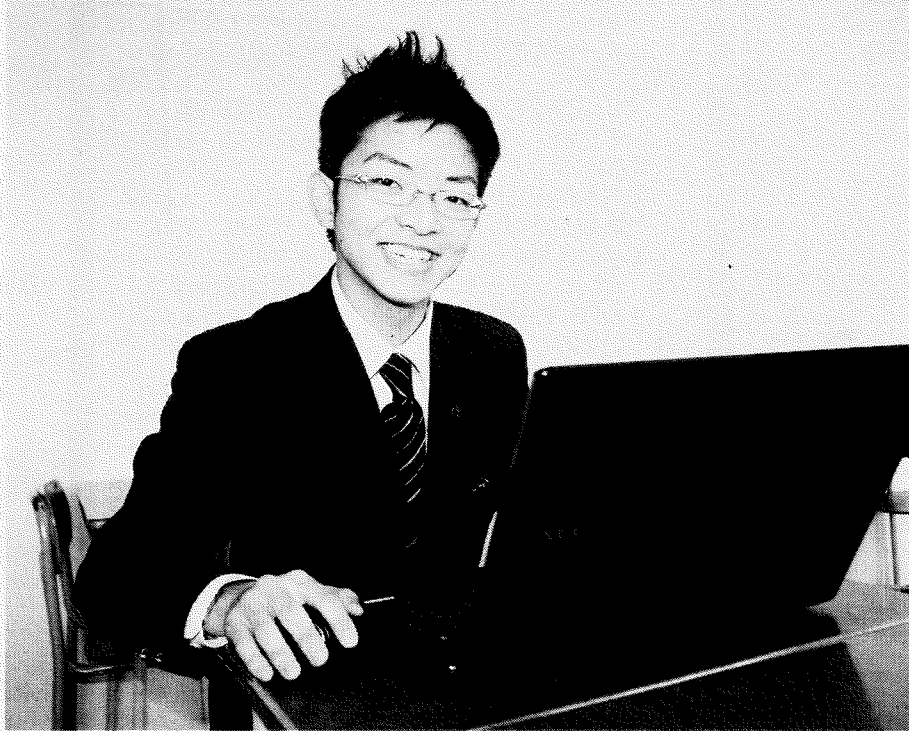


東大文一に推薦合格

盛岡中央高の内野澤安紀君 うれしい、恩返しできた

盛岡中央高特進選抜S.Z.コース3年の内野澤安紀君（18）が、東京大の文科一類（法学部）に2018年度推薦入試で合格した。高校での3年間、勉強だけでなく、さまざまな活動に全力で取り組んできた。合格という結果が出てうれしい。お世話になった人に恩返しができたと思つと語る。



推薦入試で東京大法学部に合格した盛岡中央高の内野澤安紀君

野田村出身。幼い頃から東京大に憧れを抱いていたが、本格的に志望したのは高校入学後という。当初は一般入試で挑戦しようと、高校では日々勉強を重ねていたが、全日本高校模擬国連大会や高校生ビジネスグランプリなどに積極的に参加したことが自信となり、推薦入試への受験も決意したという。

東京大の18年度推薦入試で、内野澤君が合格した法学部の募集定員は10人程度とされていた。試験内容は1次選考（志願理由書などの書類審査）を通過した志願者によるディスカッションとセンター試験の結果を総合的に判断し、可否を決定する。試験を振り返り「もともと話すことが好きで、思いがけずディス

カッションで口火を切った。そのまま議長を務め切ったことが評価されたのではと話す。今年度の推薦入試での合格者数は69人で、うち法学部には11人が合格している。

将来の夢は官僚。合格がゴールだとは思っていない。さらなる恩返しができるよう、さらに努力を重ねたい。行政や政治に興味があり、大学では同じことに興味のある仲間と議論して学びを深めた。いと夢を描いている。

盛岡タイムズ